

「ZEB プランナーとしての 2025 年活動状況報告」

当社は 2025 年度より ZEB プランナーとしての活動を開始し、管理する既存建築物を対象に ZEB 化支援に取り組んでまいりました。2025 年度目標として、「自社が受注するコンサルティング業務のうち、ZEB が占める割合を 50%以上とする」を掲げ、脱炭素化を推進する当社取引先様の支援を実施しました。

具体的には、既存建築物に対し、設備仕様の調査を行い、建築研究所計算支援プログラムを使用した評価・検証を実施し、ZEB 化の可能性検討および省エネ改修に関する助言を行いました。

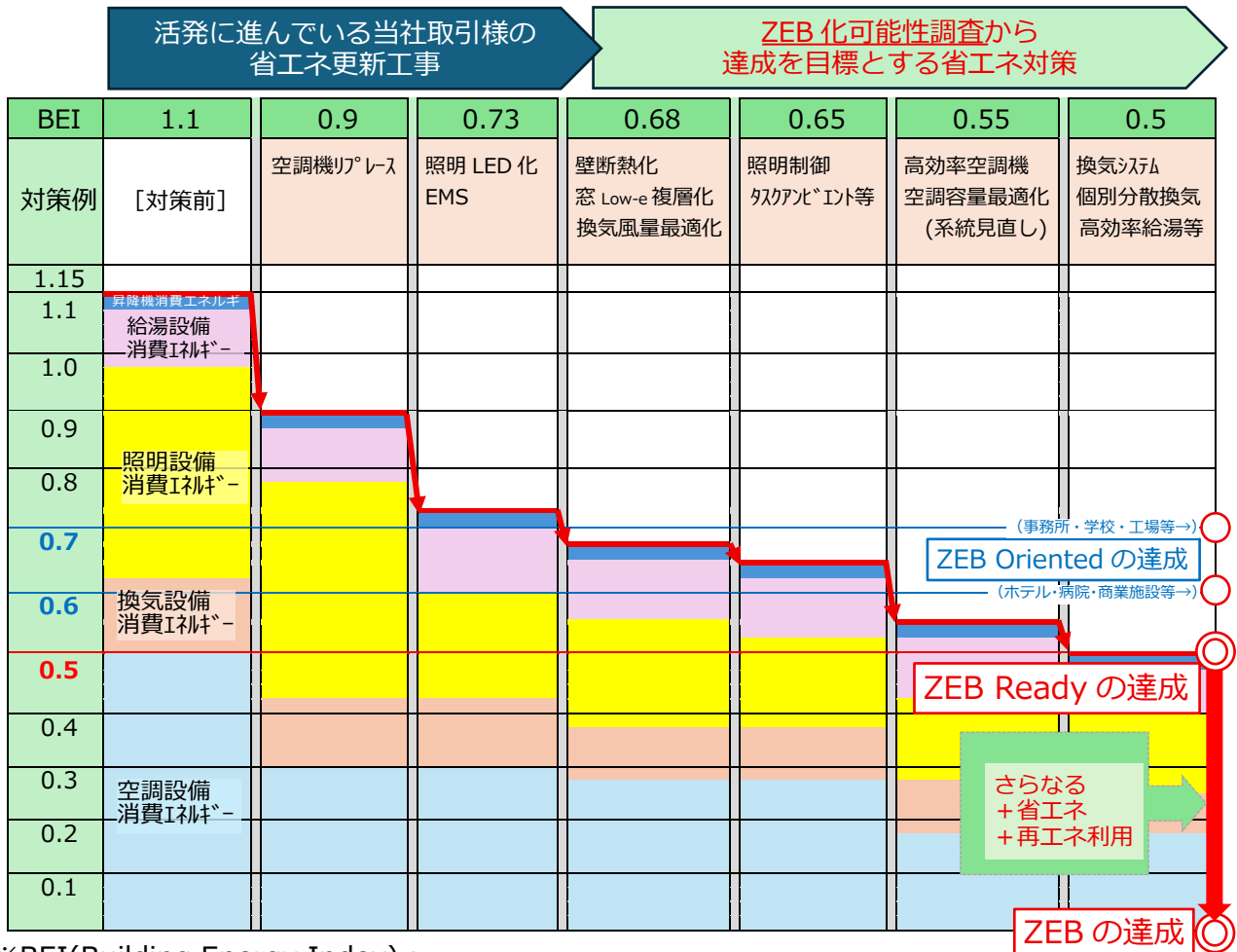
一方で、検討対象とする既存建築物において、ZEB 化達成のためには改修項目を追加する必要のあるケースが想定以上に多く、2025 年度における ZEB の受注には至りませんでした。

ただし、ZEB 未達案件においても、BEI 低減に向けた具体的な省エネ対策の抽出や、段階的な改修を前提とした提案を行い、ZEB 化に向けた技術的支援を継続しております。

今後も、ZEB 化を目指す取引先様に対して、ZEB 化によるメリットをより分かりやすく示すとともに、さらなる改修省エネ対策の抽出・具体的なご提案を実施し ZEB 達成を目指すための支援をしてまいります。

下記図表は、BEI 値と省エネの推進の相関をしたイメージ図であり、本年度はこのイメージを踏まえた、さらなる省エネ対策、ZEB 達成のための具体的施策展開を推進してまいります。

BEI 値と省エネ推進イメージ図



※BEI(Building Energy Index) :

対象建築物の「設計一次エネルギー消費量」÷「基準一次エネルギー消費量」

※BEI の算出は、建築技術研究所が提供している標準入力法【WEB プログラム】を使用します。